データベースマニュアル（2019.4）

日経テレコン[にっけいてれこん]

京都橘大学
図書館

日経テレコン[にっけいてれこん]は、ビジネスに必要な情報を網羅した日経各紙（日本経済新聞・日本産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞）記事検索、閲覧ができるデータベースサービスです。

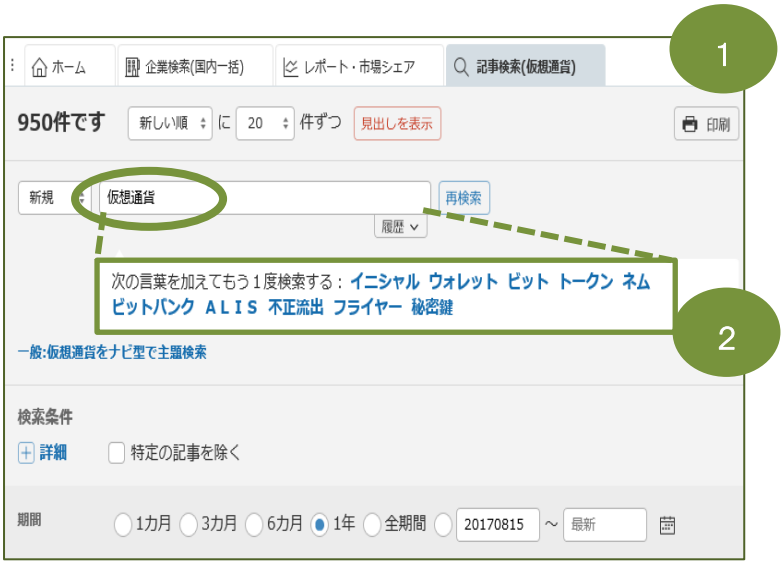
日経テレコンの強みは、情報の信頼性、取材範囲の広さ、そして時系列での蓄積です。
記事情報では、全都道府県の 50 紙をカバーしており、過去から現在までの日々の動向を報道からキャッチすることができます。

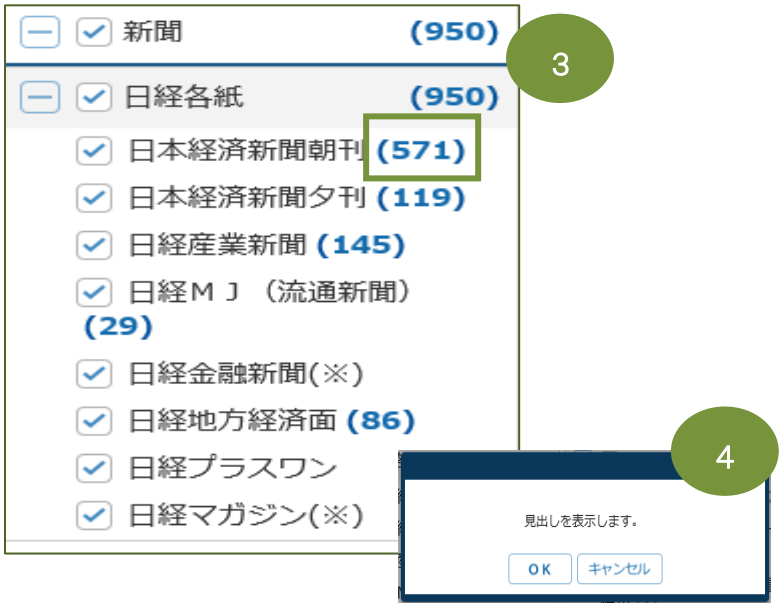
また、【業界・企業研究パック】は、業界の概要や今後の展望を見通すことができ、各企業の活動状況は把握できるため、業界・各企業への理解がさらに深まるはずです。
就職活動の手助けにもなるでしょう。

収録範囲とその特徴

	タイトル	搭載範囲/特徴
A	＊日本経済新聞（朝刊・夕刊）	■ 見出し・一部記事の抄録：1949 年 4 月～1981 年 9 月 ■ 全文記事収録：1949 年 4 月～1974 年 12 月 ■ 記事イメージ（PDF）：1988 年 6 月～
	＊日経 MJ（流通新聞）	■ 見出し・一部記事の抄録：1975 年 1 月～1985 年 9 月 ■ 記事イメージ（PDF）：1990 年 4 月～
	＊日本経済新聞 地方経済面	■ 見出し・一部記事の抄録：1976 年 1 月～1982 年 10 月 ■ 記事イメージ（PDF）：1993 年 1 月～
B	＊ナビ型 記事検索	■ Aに収録されている全期間・全媒体の新聞、ニュース記事から会社名や人名などの主題検索、ビジネスに係わるテーマ検索、業界等で検索 ■ ナビゲーションに従えば、効率的に情報検索が可能
C	＊企業検索	■ 日本経済新聞社が定期調査している、約 22,000 社の最新データ「日経会社プロフィル」と、上場会社約 3,500 社の「企業決算」の検索が可能
D	＊業界情報 ★業界・企業研究パック	■ 「日経 NEEDS 業界解説レポート」「日経業界地図」「日経大予測」「NRI 未来年表」を搭載 ■ Aに収録されている全期間の新聞、記事から業界の動向や展望などが検索・閲覧できる

A 記事検索の使い方





«例»仮想通貨の記事をさがす

① 左側縦列の【メインコンテンツ】より、「記事検索」を選び、クリックします。
右側に検索入力欄が表示されます。
複数のキーワードを入力する際は、ワードとワードの間に１つずつスペースを空けてキーワードを追加してください。

② 検索結果としてヒット件数が多い場合、追加するキーワード候補が表示されます。
追加により、さらに絞込みが可能になります。

③ 各紙の記事件数が表示されますので、その件数部分をクリックしてください。
※事例では、日本経済新聞朝刊のヒット件数をクリックします。

④ 見出し表示のポップアップが表示されるので、OKボタンをクリックします。

⑤ 記事のタイトルをクリックすれば、記事を閲覧することができます。

⑥ PDF 表示ボタンをクリックすれば、PDF 形式の記事が表示されます。

⑦ 同じ連載・特集ボタンをクリックすると、記事が連載や特集の一部だった場合、前後の記事をまとめて読むことができます。

ア：日付，　イ：媒体名，　ウ：ページ，　エ：文字数，　オ：PDF ファイル有無

B　ナビ型記事検索の使い方

「ナビ型記事検索」は、**"欲しい記事になかなかたどり着けない" "よいキーワードが思いつかない"** などの悩みを解消する検索です。
検索対象範囲は「記事検索」と同じで、具体的な会社名や、ビジネス関連テーマ、業界別などから検索することができます。

① 左側縦列の【メインコンテンツ】より、「ナビ型記事検索」を選び、クリックします。
右側に検索入力欄が表示されます。

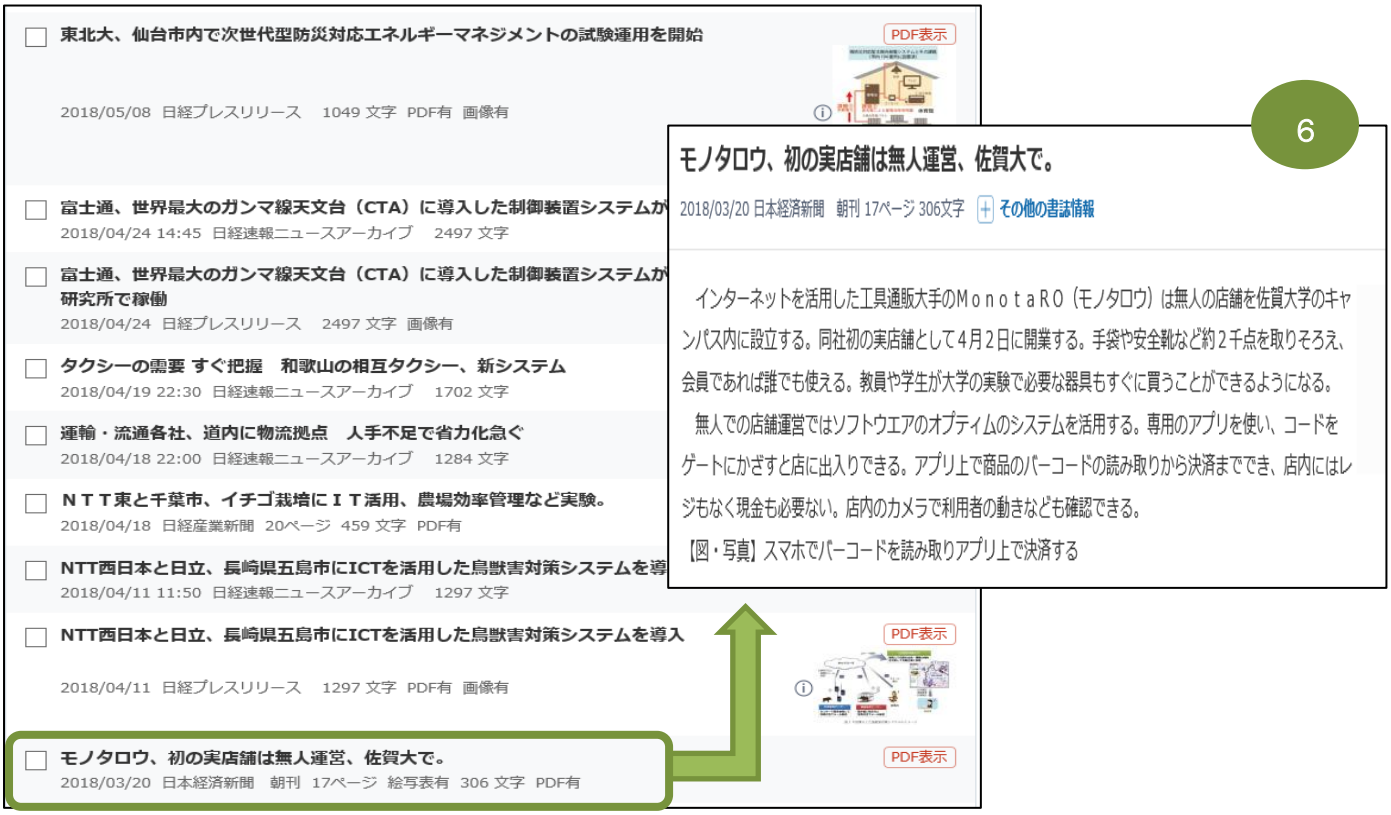
② 検索ボックスには、その下にある【分類選択】を利用して入力していきます。
この方法なら、漠然としたテーマでも、何とか目的に合いそうな情報が入手できるのではないでしょうか。

③ 例えば、【分類選択】-「テーマ」をクリックし、その中から IT 活用を選択します。
すると、IT 活用からさらに絞込みができるように【絞込みキーワード候補】が表示されます。
この中から、公的機関・大学を選ぶと、キーワード：IT 活用＋公的機関・大学の 2 つのワードで検索することができるわけです。

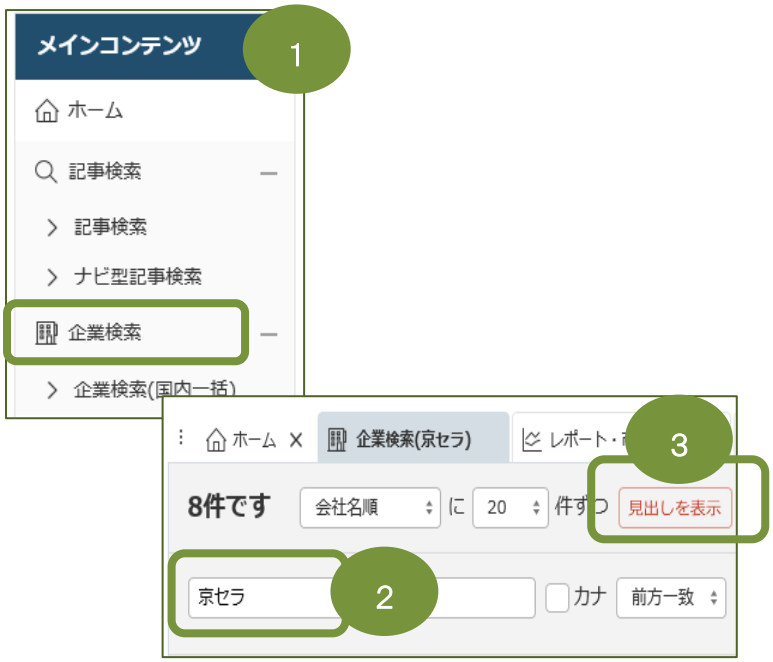
④ 2019.2 現在、123 件がヒットしました。
見出しを表示をクリックします。
左部のメインメニューから、企業検索を選び、クリックします。

⑤ ポップアップが表示されるので、OK をクリックします。

⑥ 目的に合致しそうな見出しがあれば、クリックしてみましょう。



C　企業検索の使い方



① 左側縦列の【メインコンテンツ】より、「企業検索」を選び、クリックします。
右側に検索入力欄が表示されます。

② 上部の検索ボックスに、具体的な企業名を入力し、検索ボタンをクリックします。
※事例では、“京セラ”を選択しました。

③ 見出しを表示ボタンをクリックすれば、企業に関するさまざまな情報が項目として表示されます。

④ 入手したい情報（企業名や、年間収支など）に ☑ を入れると、表示方法（本文表示/PDF 表示）が有効になるので、ボタンをクリックします。
※事例では本文表示が有効になったので、そちらをクリックします。

⑤ ポップアップが表示されるので、OK をクリックします。

⑥ 「基礎情報」から、「沿革」「事業内容」、「業績推移」「売上構成」「役員情報」「株主情報」「関連会社情報」などさまざまなデータが表示されます。
必要に応じて印刷もできます。

※ほぼ『会社四季報』と同様の内容を閲覧することができます。

D　業界情報の使い方　～レポート・市場シェア

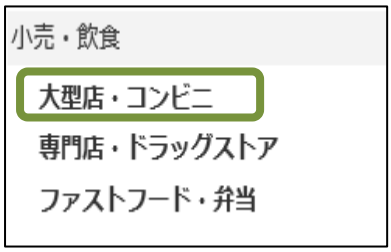
① 左側縦列の【メインコンテンツ】より、「業界情報」-レポート・市場シェアを選び、クリックします。

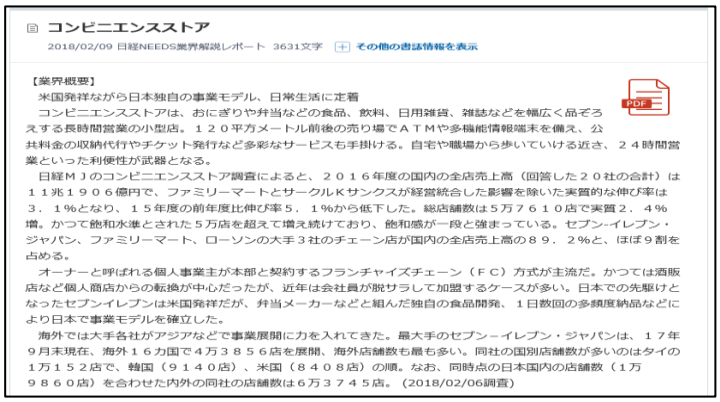
② 右側の検索ボックス下にあるラインナップより媒体を選び、クリックすると、それぞれに合った業界カテゴリが下部に表示されます。

※以下、事例としてすべて「コンビニ」業界で統一しています。

■ 日経 NEEDS 業界解説レポート

約 550 の業界の概要や今後の見通し、企業の活動状況を簡単に把握できるレポート。
「業界概要」「市場動向」「競合状況」の 3 つの要素で構成。
※ジャンルは、【小売・飲食】-大型店・コンビニに該当するので、項目部分をクリックします。
　レポートの本文が表示されます。

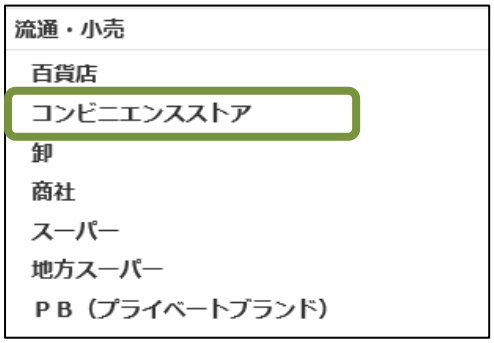


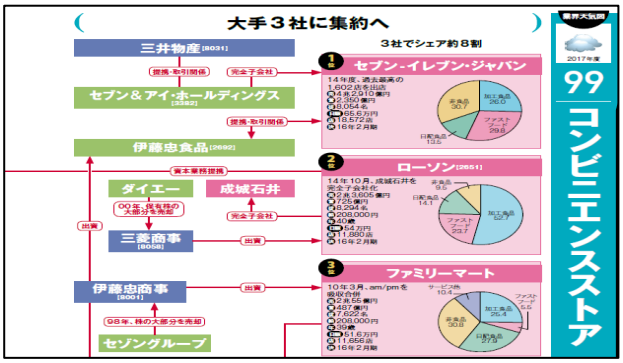

コンビニエンスストア
2018/02/09 日経NEEDS業界解説レポート 3631文字 その他の書誌情報を表示

【業界概要】
米国発祥ながら日本独自の事業モデル、日常生活に定着
コンビニエンスストアは、おにぎりや弁当などの食品、飲料、日用雑貨、雑誌などを幅広く品ぞろえする長時間営業の小型店。１２０平方メートル前後の売り場でＡＴＭや多機能情報端末を備え、公共料金の収納代行やチケット発行など多彩なサービスも手掛ける。自宅や職場から歩いていける近さ、２４時間営業といった利便性が武器となる。
日経ＭＪのコンビニエンスストア調査によると、２０１６年度の国内の全店売上高（回答した２０社の合計）は１１兆１９０６億円で、ファミリーマートとサークルＫサンクスが経営統合した影響を除いた実質的な伸び率は３．１％となり、１５年度の前年度比伸び率５．１％から低下した。総店舗数は５万７６１０店で実質２．４％増。かつて飽和水準とされた５万店を超えて増え続けており、飽和感が一段と強まっている。セブン-イレブン・ジャパン、ファミリーマート、ローソンの大手３社のチェーン店が国内の全店売上高の８９．２％と、ほぼ９割を占める。
オーナーと呼ばれる個人事業主が本部と契約するフランチャイズチェーン（ＦＣ）方式が主流だ。かつては酒販店など個人商店からの転換が中心だったが、近年は会社員が脱サラして加盟するケースが多い。日本での先駆けとなったセブンイレブンは米国発祥だが、弁当メーカーなどと組んだ独自の食品開発、１日数回の多頻度納品などにより日本で事業モデルを確立した。
海外では大手各社がアジアなどで事業展開に力を入れてきた。最大手のセブン－イレブン・ジャパンは、１７年９月末現在、海外１６カ国で４万３８５６店を展開、海外店舗数も最も多い。同社の国別店舗数が多いのはタイの１万１５２店で、韓国（９１４０店）、米国（８４０８店）の順。なお、同時点の日本国内の店舗数（１万９８６０店）を合わせた内外の同社の店舗数は６万３７４５店。（2018/02/06調査）

■ 日経業界地図

業界の最新動向や抱えている課題、将来の見通しを解説。
企業同士の相関図をビジュアルでみせるほか、市場規模、企業・製品のシェア、トレンドグラフなど視覚的に分かりやすく工夫されている。
※業界カテゴリは、【流通・小売】-コンビニエンスストアに該当するので、項目部分をクリックします。
　レポートの本文が表示されます。

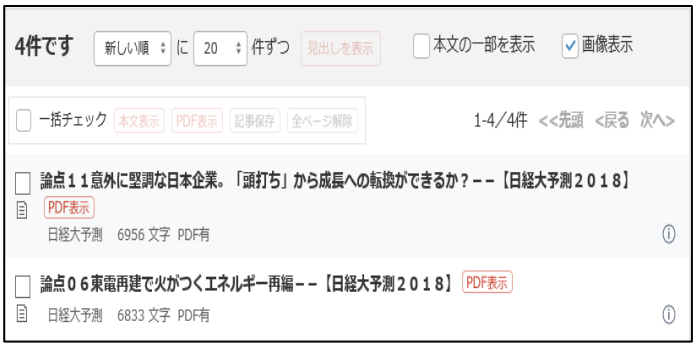




■ 日経大予測

マクロ経済、産業動向から科学技術、国際情勢までさまざまなテーマについて、日本経済新聞の記者が予測。

※この場合は業界カテゴリがないので、日経大予測に☑を入れた上で、上部の検索ボックスにキーワードとなる【コンビニ（エンスストア)】と入力します。



D　業界情報の使い方　～業界サマリ

① 左側縦列の【メインコンテンツ】より、「業界情報」−業界サマリを選び、クリックします。

② 右側の上部にある、業界を選択をプルダウンし、目的の業界を選択します。

※事例では、【小売・飲食】−大型店・コンビニ業界を選びました。

③ タブをクリックして、画面を切り替えます。界情報」−業界サマリを選び、クリックします。

※事例では「トップインタビュー」を表示しました。

■トップインタビュー

経営トップのことばから、業界の現状・評価・課題・見通し、各企業のビジョンをみることができる

■特集・連載

日経各紙のコラムなどから、業界の現状や今後の展望、将来性を分析

■企業業況

『日経会社情報』のコメントから、上場企業の業績や今後の事業展望を比較

重要メモ

データベース：日経テレコンの利用が終了したら、速やかに画面右上部の ログアウト ボタンをクリックし、必ず利用終了してください。